

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

日本循環器学会 循環器疾患診療実態調査（JROAD）への協力

2. 研究の対象患者

2012年4月1日から2018年3月31日の間に、循環器の疾患が原因で入院された患者さん

3. 研究の対象期間

2012年4月1日～2018年3月31日

4. 研究の概要

JROAD調査施設の中からDPC(Diagnosis Procedure Combination; 診断群分類)参加病院を対象に、病名や診療行為の明細が含まれたDPCデータを集め、データベースを作成します。得られたデータに基づいて、医療の質を向上するのに必要な情報を循環器学会員へ発信し、循環器診療の質を向上させるための基本的な資料とすることを目的としています。

5. 研究実施予定期間

2017年11月24日～2018年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、入院時年齢、自宅郵便番号、発症年月日、入院年月日、入院経路(救急車による搬送、他院よりの紹介)、併存症(高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、心房細動、COPD、CKD、透析治療、関節リウマチの有無)、入院前NYHAスコア、画像診断、検査の有無、リハビリテーションの有無、退院時NYHAスコア、退院年月日、退院先、退院時DPCコード、退院時ICDコード、脳卒中合併の有無、入院中の治療の有無(PCI治療、ステント治療、CABG、CRT治療、ICD治療、血栓溶解療法)、退院時処方(抗血小板薬治療、抗凝固薬治療、降圧薬治療、スタチン製剤、ACE阻害剤およびARB、βブロッカー)、搬送の地理情報、時刻情報(覚知、現着、病院到着時刻)、心停止、呼吸停止、意識レベルの低下、瞳孔散大、血圧低下(SBP90以下)、不整脈の出現(VT,Vf,Afなど)、SpO2の低下(SpO2 94以下)

7. 外部への試料・情報の提供

CD-Rに保存し、レターパックで送付

8. 研究組織

国立循環器病研究センター 副院長 安田 聡
総合病院国保旭中央病院 循環器内科 神田 順二
熊本大学大学院心血管寄附講座特任客員教授 掃本 誠治
熊本大学大学院心不全先端医療寄附講座特任准教授 小島 淳
札幌医科大学病院管理学 教授 土橋 和文
横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター部長 木村 一雄
奈良県立医科大学医学部 第一内科教授 斎藤 能彦
熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科・教授 辻田 賢一

そのほか、日本循環器学会に協力する全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者：循環器内科 神田 順二
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)

(研究代表者)

国立循環器病研究センター 副院長 安田 聡